

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

教育政策課

1 施設の概要等

施設名	府中市上下歴史文化資料館		
所在地	府中市上下町上下1006		
設置目的	歴史資料等の収集、保管、展示、調査及び研究等の事業を行い、文化財の保護と活用を図る。また、岡田美知代の紹介と上下地域の歴史・文化調査及び研究を行い、上下地域固有文化財の保護・普及活動を図ることを目的とする。		
施設・設備	地上2階建物、木造瓦葺 1320.5㎡ 延べ床面積712.6㎡		
指定管理者	R6, 4, 1	～	R11, 3, 31 (一社)天領上下まちづくりの会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	5,000 人	10,437 人	3,755 人	5,437 人	208.7 %
	R5	10,000 人	13,548 人	3,111 人	3,548 人	135.4 %
	R6	10,000 人	10,982 人	-2,566 人	982 人	109.8 %
	R7	10,000 人	11,514 人	532 人	1,514 人	115.1 %
	R8	人	人	人	人	%
増減理由	・R8年2月は天候に恵まれひなまつり来館者が例年より多く、ひなまつりイベント「でこ市」が2月28日であったため、2月の入館者数が増えた。ひなまつり情報、テレビニュース、番組、新聞などで上下町や、上下歴史文化資料館が紹介された回数も多く、来館者の増加につながった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	施設利用アンケート(2月21日～3月22日)	天領上下ひなまつり期間中の来館者を対象・198件
	【主な意見】 ・岡田美知代を初めて知り、ひなまつり作品の展示が良かった。 ・企画展にQRコードがあったので、作品を帰ってからゆっくり読めるのがよい。 ・資料館以外の駐車場がわかりにくい。 ・トイレの扉が開きづらい。 ・トイレの位置がわかりにくい。 ・奥が少し暗い。展示パネルが読みづらい。	【その対応状況】 ・岡田美千代の作品を多くの人に読んでもらえるように、作品が読めるQRコードなどを利用し、企画展示の内容を工夫した。 ・町並みの見どころマップや駐車場マップを各所に設置、配布を行った。 ・トイレの扉を、軽量で開きやすいものに取り替えた。 ・トイレの誘導看板の位置を整え、スタッフが案内を行った。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次報告
	日報(必要随時)	○	その他(雨漏り報告等)
管理運営会議		【特記事項等】	
1 回 会場 教育センター		・歴史資料館運営審議会を開催し、現状や課題の報告に対する意見交換協議等を実施した。	
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】	
1月		・引き続き教育委員会に報告と意見交換協議を実施。	
2月	3月	4月	5月
○	○		○
6月	7月	8月	9月
○	○	○	○
11月	12月	【市の対応】	
○		・管理運営状況、施設確認(雨漏り)など(令和7年5・6・10・11月) ・雨漏り箇所点検及び雨漏防水改修工事費見積(令和7年5・9月) ・開館時間について協議(令和7年6・7・8月) ・クーリングシエルター利用者調査(令和7年6・7・8月) ・労働条件などのチェック(令和8年6月)	

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市 委 託 料 (決 算 額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	16,886	1,408		R4	0	0
	R5	18,543	1,657		R5	0	0
	R6	19,419	876		R6	0	0
	R7	19,623	204		R7	0	0
	R8	19,940	317		R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R6決算額	R7決算額	対前年度比	主な増減理由等
委 託 事 業	市 委 託 料	19,419	19,623	204	事務職員採用、電気料金増加見込
	料 金 収 入	0	0	0	
	そ の 他 収 入	130	218	88	
	計 (A)	19,549	19,841	292	
	人 件 費	12,987	13,311	324	職員給与上昇、手当増
	光 熱 水 費	1,448	1,695	247	
	管 理 費	957	1,003	46	
	施 設 維 持 修 繕 費	99	216	117	多目的トイレ扉の修繕
	事 業 費	570	954	384	備品購入と冊子の印刷等
	事 務 局 費	421	770	349	コピー機・Wifi使用料増
	そ の 他 支 出	936	715	-221	
	計(B)	17,418	18,664	1,246	
	収支①(A-B)	2,131	1,177	-954	
	収 入 (C)	0	0	0	
自 主 事 業	支 出 (D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	0	0	
合 計 収 支 (① + ②)		2,131	1,177	-954	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	○指定管理者として、管理運営方針にのっとり、職員が一致団結して業務に取り組み、施設の安全な維持管理を徹底してきた。夏季のクーリングシェルターや冬季の除雪の徹底や暖房の配慮など、利用者が心地よく過ごせる空間づくりに取り組んだ。 ○市から指摘のあった2階照明器具の改修を実施した。また老朽化した施設の修繕について、定期的な保守管理に加え、仕様書外の緊急修繕に対しても来館者のサービスを最優先に考え、柔軟に対応した。 ○各学校との連携を図り、町歩きや体験などに協力した。また、地域と連携した地域づくりやイベントへの協力を行った。 ○学芸業務は、各研究会と連携し資料解説・冊子発行に加え、企画展示を行い、解説シートを作成した。終戦80年のスポット展示では、来館者の戦争体験の聞き取りと記録収集に努めた。また、ひなまつり期に変更した岡田美知代企画展示では、作品に関心を持つ人が多く、ひなまつりだけでなく、上下の文化に関心を持つ人が多かった。 さらに資料調査と保存作業、デジタルアーカイブス公開を目標としたHPの更新など、地道な業務も積極的に取り組んだ。	○施設の維持管理については、省エネなどの効率化を図りながら、クーリングシェルターといった市の取り組みにも協力し、利用者が心地よく利用できるよう配慮した環境づくりが行われた。 ○前年度の事業報告書について、提出締切後に提出されたため、改善を要求した。 ○仕様書に定められた定期的な保守管理に加え、想定外の緊急修繕が発生した際にも、柔軟に対応され、快適な環境を維持していた。 ○運営面については、地域や学校と連携したまちづくりへの貢献はもとより、企画展や各種催しの開催だけでなく、資料館の根幹業務としての各種研究会の継続、展示解説資料の作成、歴史資料の収集・整理、研究成果の刊行など地道な活動にも積極的に取り組まれた。今後も継続した取り組みを期待する。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	○館内の修繕必要箇所が増加している。順次可能な範囲で修繕を進める予定。 ○開館から22年経過し、施設の著しい経年劣化に加え、降雪やゲリラ豪雨等による雨漏りが深刻である。施設の修繕実施に向けて取り組むとともに、教育委員会と協力して、可能な範囲で当面の応急処置に全力を尽くす。 ○個人や団体からの預かり品を再確認し、返却や寄贈等の手続きを進める。 ○これまでの実施状況を検証し、新たな視点での講座や体験の内容を再検討する。今後の課題である少子高齢化に対して、各世代・町内外からの利用者が何度でも来館したいと思えるような展示や取り組み内容を検討する。	○開館から20年以上経過する中で、施設の大規模修繕が課題となっており、市が早急に対応していく必要がある。 ○長年の課題である寄託・寄贈処理されていない所蔵品についての整理(返却・寄贈手続含む)を早急に行う必要がある。 ○寄贈資料の整理や研究に積極的に取り組まれ、さらに研究成果の冊子を発行された。今後も継続した取り組みを期待したい。 ○指定管理2年目として、前年度の経験を活かし、地域に根付いた企画展や取組を実施していた。今後もこうした独自の事業展開を期待する。